

2019年度 TJUP 学園祭お訪ね隊 参加レポート

No.	参加日： 10月27日（日）	訪ね先： 駿河台大学（駿輝祭）
参加メンバー：東京電機大学、女子栄養大学、山村学園短期大学、城西大学		
1. 参加した学園祭の感想（400字程度）※TJUP HP に体験談として一般公開します。		
<p>2019年10月27日（日）、駿河台大学の「第33回 駿輝祭「※百花斉放（ひゃっかせいほう）」にTJUP 学園祭お訪ね隊として参加しました。</p> <p>※学問・科学・文化・芸術活動などが、自由にまた活発に行われること。</p> <p>学園祭を見学する前に、非常に感心したことが学内駐車場の誘導係の連携でした。広大な駐車場で、トランシーバーと誘導棒を使いきびきびと連携をとり、スクールバスと来場者の車両の誘導を滞りなく行う様子は非常に参考になりました。</p> <p>好天にも恵まれ、屋外の広大な芝生の広場はとても気持ちがよく、ステージで学生によるライブなどが学園祭を盛り上げ、模擬店やフリーマーケットが出店していました。模擬店は、学生サークルだけでなく、地域の小売店なども参加していて地域とのつながりも感じました。「味王」決定選手権という学生団体の模擬店の中で一番おいしいと思うメニューに投票し、受賞団体を表彰する試みは、翌年度のパンフレットや模擬店にエンブレムが掲げられるなど、モチベーションを維持向上するよい取り組みだと感じました。</p> <p>屋内展示では、学生団体や研究室（ゼミ）が多彩な活動発表を行っていました。特に印象に残ったのが、映画と着物とクーゲルバーンの発表展示です。映画は、映画制作ゼミによる映像処理技術を駆使した日々の学びを实践した質の高い作品でした。着物の展示は、種類によってTPOがあることや、さまざまな種類の着物が分かりやすく展示されていました。クーゲルバーンは飯能の木材を使っており、地元と密着して取り組んでいる事業はとても関心が持てました。他にも、吹奏楽、アカペラ、模擬裁判、三味線、プラモデル、弓道体験コーナーなど幅広いジャンルが並び、まさに「百花斉放」の言葉の意味を体現しており、本来の学園祭の主旨に沿ったものだと感じました。</p> <p>TJUP 合同入試情報コーナーは、展示の多い第二講義棟の入り口付近にあり、通りかかった親子などが手に取っていました。</p> <p>構内は平坦で廊下も広く、車椅子の方が多く見受けられました。誰もが気軽に学園祭に来られる配慮が所々に感じられました。パンフレットの最初にベビールームや授乳室の案内があるのも良かったです。年齢層は子どもから大人まで幅広く、子ども達が楽しそうに走り回っていました。</p>		